

# 施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	1・2・1					
②	施策名	快適に学べる学校教育環境の整備充実	評価担当課	学校教育課	総合戦略	行政経営	過疎
					○		
③	目標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					
④	⑤ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。</li> <li>◆ 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。</li> <li>◆ 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育てていくことが求められています。</li> </ul>		施策の内容	授業にコンピュータを活用するなど、情報化社会に対応した教育の充実を図ります。また、安心・安全な学校給食の提供やスクールバス等による通学対策のほか、学校施設の老朽化対策や修繕を適正な管理のもとに実施し、より良い教育環境づくりを推進します。		

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
ICTを活用した授業回数	回	2,066					2,500	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
		132,228	125,054	166,589	127,428	137,300

## 1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	<p>給食センターにおける施設整備事業、給食運搬業務委託、給食調理業務委託については、計画通り達成することができた。</p> <p>児童生徒の通学に係るスクールバス運行事業、通学対策事業も計画通りであった。</p> <p>ICT教育環境整備事業については、タブレットPC導入に向け検討委員会を設置し、平成29年度のスケジュールを決定した。</p> <p>学校施設の維持管理補修事業については、計画通りに執行するとともに、緊急を要する修繕についても対応した。</p> <p>小学校のあり方検討事業はH29年度以降、校舎大規模改造事業はH30年度以降に実施する。</p>
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

## 今後の取組

⑩	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、児童生徒数が減少していくが見込まれるが、学校給食や通学対策等についてはおおむね現状を維持していく。</li> <li>・タブレットPC導入にあたり、平成29年度に各小中学校の環境整備を進める。</li> <li>・学校施設の維持管理補修については、計画的に修繕を進め、児童生徒の良好な学習環境に努める。</li> <li>・小学校のあり方検討については、平成29年度に保護者等にアンケートを実施するとともに検討委員会を立ち上げ、小学校のあり方を検討する。</li> <li>・校舎大規模改造事業は、平成30年度以降に設計、施工を行う。</li> </ul>
---	-------	---

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 現在の事業を継続するものとし、平成29年度から小学校のあり方検討事業、平成30年度から校舎大規模改造事業を開始する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 引き続き快適な学校教育環境の整備に努めるとともに、地域全体での小学校のあり方や、校舎大規模改造事業についても検討を重ねること。